

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和3年3月10日

公表: 令和3年3月11日

* 無記入項目あり

事業所名 多機能型事業所umineco

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	2	・祝日などは狭く感じるが、具体的改善策が思い浮かばない。暖かくなったら中と外で活動を分ける？ ・休みの日の時は公民館も使った	スペースが狭い場合は活動場所を分けることで対応をしていきます
	2	職員の配置数は適切である	4	1	1		今後も法令に遵守した上で、利用者の状態や状況による適切な人員配置を行っていきます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	2	・浴室の段差が危ない	構造上難しい事柄に対しては、人手を増やすなどの工夫を行っていきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	1		担当者会議に全員が参加できるようにし、不参加の職員には記録にて情報を共有できるようにします
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	2		開所して1年が経過し今回が初めての評価になります。今後も継続していきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	0		開所1年が経過し今回が初めての評価になります。評価は保護者の方へ報告しホームページにも公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	4		第三者による外部評価について知らない職員がいるため説明を行い、外部評価については今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	0	・コロナの影響で研修機会が少なくなったので定期的に事業所内だけでもした方がよい	オンラインの外部研修も利用しながら事業所内での研修も行っています
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		今後も継続していきます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2	3		標準化したアセスメントツールは現在作成中です。次回のモニタリングから使用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0	・保育士が立案してくれた内容の意図を理解し、適切なサポートができていない時もある	チーム以外の職員も活動目標の共有ができるように伝えていきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	・活動の意図を専門職が理解することが重要	今後も継続していきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	1	・長期休暇はこなすことで精いっぱいなので各自職員のスキルアップが必要	適切な役割分担をしていきます。スキルアップのために研修も行っています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		今後も継続していきます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2	2	・常勤とパートで持っている情報量に差がある。ケアコラボをもっと活用して情報発信をわかりやすくしてほしい。申し送りの機能をもっと使ってほしい	情報量に差が出ないように、申し送り機能を活用していきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	3	3	・終了後の打ち合わせはできていないので短時間でも出来たらいいと思う	送迎のために支援後に集まって打ち合わせをすることは難しいため、個別で気づいた点を行ってもらったり記録や翌日の朝に職員間で共有できるように連携を取っていきます

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	今後も継続していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	今後も継続していきます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	0	4	0	ガイドラインの内容についての認知を周知します
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	今後も継続していきます
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	0	学校や保護者と連携を取り情報共有を行いながら適切に進めています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	0	今後も継続していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	0	今後も連携に努めて参ります
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	1	移行支援会議を通して情報を共有しています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	1	若草園や他事業所とも連携を図り、専門家の意見を取り入れる機会を作っていきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	6	・コロナが落ち着いたら是非交流したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1	4	福山地区放課後等デイサービス連絡協議会、広島県放課後ネットに入会していますが、今年度は活動がありませんでした
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	今後も継続していきます
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	3	相談があった時は随時対応します。感染症の状況を見ながら参観日や懇談などの集団での支援も計画をしていきます
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	今後も継続していきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	今後も継続していきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	5	新型コロナウイルス感染症のため今年度はありませんでしたが、感染症の状況を見ながら計画をしていきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	今後も継続していきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	今後も継続していきます
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	今後も継続していきます

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0		適切にアセスメントをすることで個々の能力に応じたカードやサインなどを用いています。保護者とは送迎時やLINEで情報共有を行います。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	4		新型コロナウイルス感染症のため今年度はありませんでしたが、感染症の状況を見ながら計画をしています
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0		今後も継続していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	1		平日は難しいため長期休暇や祝日に全員が訓練を行えるようにしていきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0		今後も継続していきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	1		身体拘束の研修の機会を設け、周知徹底を行っていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0		職員間で情報が共有できるようにしていきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	1		情報の共有ができるように申し送り機能を使い、またタブレット端末から常に閲覧できるようにします